

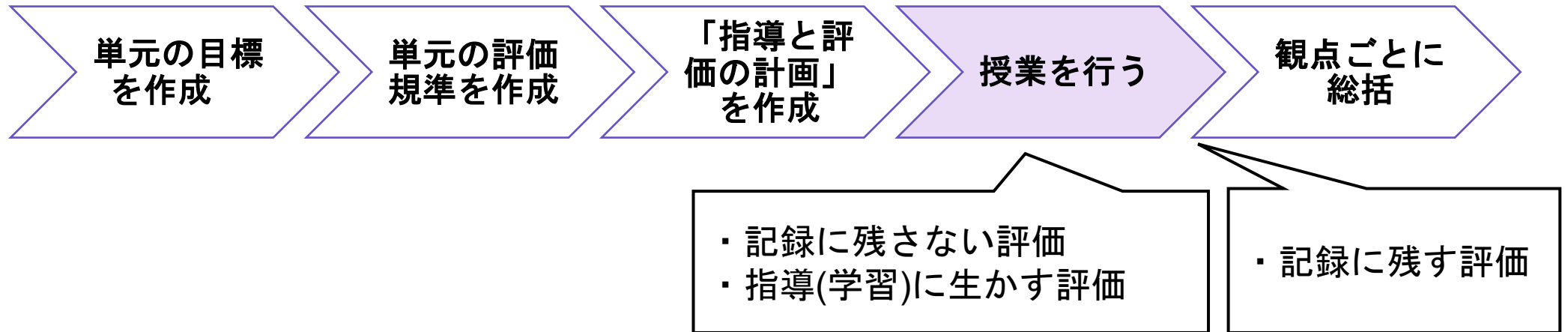
児童・生徒の自信を 育む評価

ー ティーム・ティーチングにおける
ポジティブ・フィードバック ー

明海大学 百瀬美帆 米村珠子 パトリツィア・ハヤシ タイソン・ロード

学習評価の概要（1）

- 学習評価の意義：①教師の指導の改善
②児童・生徒の学習改善
- 5領域それぞれを3観点で評価
- 評価の進め方



学習評価の概要（2）

■観点別評価の留意点（例：話すこと[やり取り]）

「知識・技能」

英語の特徴やきまりに関する事項を理解しているかどうかを評価
言語材料の提示がない状況において、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けているかどうかを評価

「思考・判断・表現」

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを伝え合っているかどうかを評価

「主体的に学習に取り組む態度」

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしているかどうかを評価

学習評価の概要（3）

■学習評価における留意点

- ・単元の中で、指導(学習)に生かす評価 と 記録に残す評価 の場面を計画する
- ・記録に残す評価を行う時期の工夫、評価場面を精選する
- ・「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」は一体的に見取ることが可能
- ・文法、音声は評価対象としない（recastにより指導は行う）
- ・児童・生徒に目標達成度について振り返らせ、個人内評価等につなげることも重要

学習評価の概要（4）

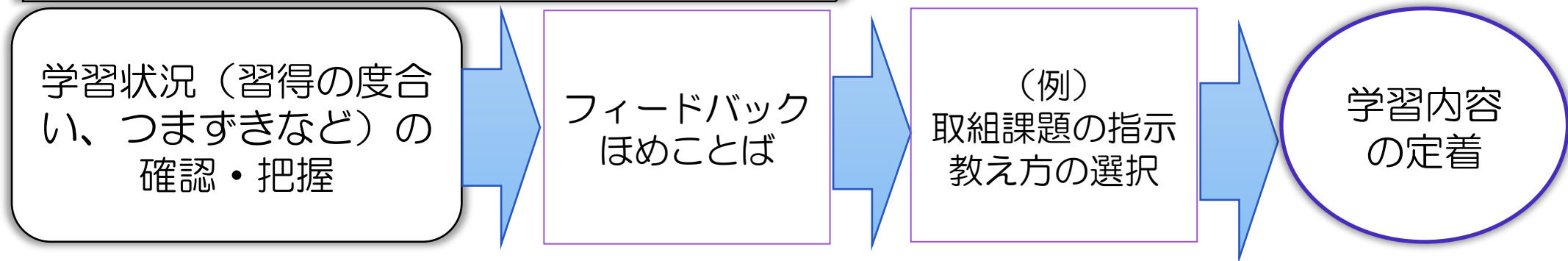
■指導と評価の単元計画例（聞くこと、話すこと[やり取り]）

“When is your birthday?”

	記録に残す評価を行う	指導(学習)に生かす評価を行う (記録に残す評価を行わない)
第1～3時		「聞くこと」「話すこと[やり取り]」 目標に向けた指導や学習状況の確認
第4・5時	「聞くこと」行動観察、ワークシートの記述分析	「話すこと[やり取り]」 目標に向けた指導や学習状況の確認
第6・7時	「話すこと[やり取り]」行動観察	

2種類の評価

記録に残さない評価・指導（学習）に生かす評価

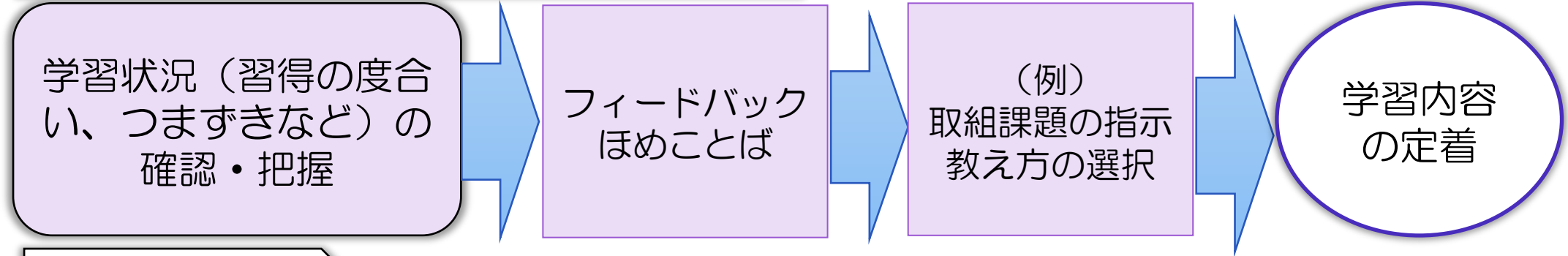


記録に残す評価

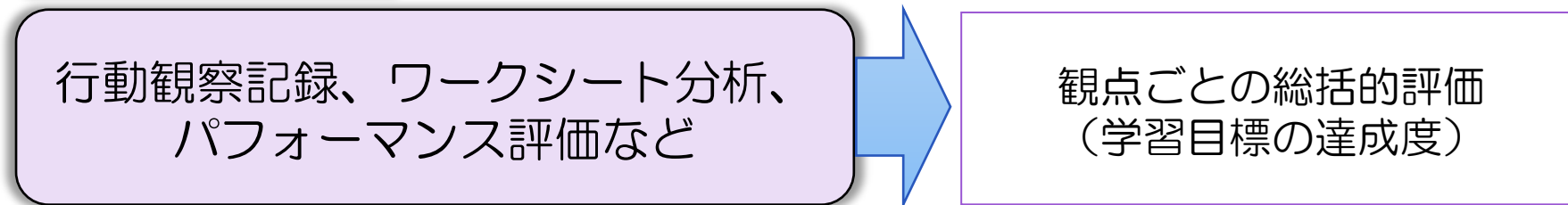


チーム・ティーチングにおける評価の役割分担（1）

記録に残さない評価・指導(学習)に生かす評価



記録に残す評価



○ALT: 各評価場面で評価を行う(薄紫部分)

○HRT: すべての評価場面で評価を行い、ALTの評価と合わせて観点ごとの総括的評価を行う

チーム・ティーチングにおける評価の役割分担 (2)

■留意点

- 各学習活動の評価規準をALTとHRTが共有し、複数で評価する
 - 評価の信頼性が高まる
 - 異なる視点でフィードバックできる
 - プレゼンテーションはALTが評価するなど分担することも可能
- HRTが総括的評価を行うために、ALTは必要な評価情報・評価材料を提供する
- ALTとHRTが評価を後で確認するためにパフォーマンスは動画で撮影しておくとい

チームティーチングにおけるT1、T2の役割分担

HRT（学級担任）の役割

T1です！

- ・ 児童・生徒についてよく知っている。
→ 個に応じた発問、受けとめ、支援ができる。
- ・ 英語母語話者ではない、学習者である。
→ 英語を学ぶ人・使う人としてのロールモデルを示すことができる。
- ・ 継続して指導を行うことができる。
→ 授業を改善できる。

☆ 自信をもって指導にあたりましょう！

ALT（英語指導助手）

T2です！

- ・ 英語母語話者または使用者である。
→ 音声の特徴、文化について指導することができる。
- 児童・生徒が英語を使う必然性を作り出すことができる。
- ・ 指導においてHRTのパートナーである。
→ 児童・生徒の活動を見取り、HRTに情報を提供することができる。

☆ 母語話者としての特性を生かして指導しましょう。

互いに英語でコミュニケーションを図り児童・生徒のモデルになりましょう！
信頼関係を構築しましょう！

全体をほめる 個別にほめる

全体をほめる

- 学級全体にポジティブな雰囲気を作り出すことができる。

EXAMPLES

Awesome job!

Great communication!

Fantastic work today, class!

個別にほめる

- 児童・生徒の学習態度や学び方を変容させることができる。

EXAMPLES

(Name), I liked your eye contact!

(Name), you worked well with your partner!

(Name), I liked your effort!

(Name), you spoke from the heart!

HRTだからこそできる児童・生徒の学習意欲を向上させることば・個性を知っているからこそかけられることばがある。

効果的にほめる

効果的にほめるために...

- 名前を呼んだりして個人について言及する。be specific
- 発言や活動の直後など、児童・生徒が何についてほめられているのかが分かるタイミングでほめる。be timely
- 児童・生徒の個々の資質や言語スキルそのものではなく、学習状況に注目する。
- ペア活動やグループ活動においても特定のペアやグループについて言及することができる。

ポジティブ・フィードバック表現例

Awesome job!

Great communication!

Fantastic work today, class!

(Name), I liked your eye contact!

(Name), you worked well with your partner!

(Name), I liked your effort!

That's okay.

That's fine.

Don't worry.

That's a nice try!

Nice effort!

チェックリストの活用

指導（学習）の改善のため、チェックリストを活用して児童・生徒の学習状況
チェックリストを活用して児童・生徒の学習状況を見取りましょう

- ・ 総括的評価のための記録としては使いません。
- ・ T1、T2がそれぞれに見取った学習状況に関する情報を授業後に共有するために利用します。
- ・ メモした情報をもとに次回の授業で児童・生徒の個に応じたフィードバックを与えるために利用します。

MEIKAI-JOE PLUS: CHECKLIST FOR THE ELEMENTARY SCHOOL

LANGUAGE CLASSROOM



コミュニケーション・ スキル Communication Skill	個別をほめることば例 Specific Praise Examples	メモ (氏名など) Notes (Student Names)
1. アイ・コンタクト Eye-Contact	<ul style="list-style-type: none"> ● → (Name), I liked your eye contact! ● → (Name), great eye contact! ● → (Name), super eye contact! 	
2. はっきりした声 Clear Voice	<ul style="list-style-type: none"> ● → (Name), I liked your speaking voice! ● → (Name), nice, clear voice! ● → (Name), you spoke with a large, clear voice! 	

1. 見取る活動を決める。
2. 児童・生徒の氏名や様子などを「忘れないように」メモする、
→ 指導に活かすため
3. 授業後に情報を共有する。

「話すこと[やり取り]」

目標に向けた指導や学習状況の確認をしましょう！

手順

1 モデルを示す HRT ⇔ ALT

ALT: What sport do you like?

HRT: I like soccer. (絵を示しながら)

ALT: You like soccer. Me, too.

2 同じやりとりを T⇔Sで行う。+ フィードバックを与える。

①やりとりがうまく行った場合のフィードバック例

ALT: What sport do you like?

S : I like tennis.

ALT: You like tennis! Me, too.

HRT: ○○, I liked your eye contact.

- ①やりとりがうまくいった場合
- ②児童・生徒の返答が的外れな場合
- ③やりとりが続かない場合

手順 2-②・③
 やりとりがうまくいかない場面での
 ポジティブ・フィードバック
 ②返答が的外れな場合
 ③やりとりが続かない場合

場面 Situation	発言を促す・励ますことば・ 会話を続ける方法 Words of Encouragement or Ways to Continue Speaking
ターゲット表現を含まない 場合 Missing the target language	<p>●→指導技術:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の答えを繰り返す ・児童・生徒の答えに応じてターゲットとなる質問を変える。 <p>Strategy: Repeat the student's answer. Change the target question to reflect the student's answer.</p> <p>例)</p> <p>Eg. T1: What sport do you like? -----St: Apples. T1: Oh, you like apples. What <u>fruit</u> do you like? St: I like apples. T1: Me, too! (Praise)</p>
会話が続かない場合 The conversation ends	<p>●→指導技術:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット表現を使いながら児童・生徒の個に応じた質問に代える。 <p>Strategy: Use your knowledge of the student to ask an appropriate question using the target language.</p> <p>例)</p> <p>Eg. T1: What sport do you like? -----St: No. / □ (沈黙など) -----T1: That's okay. (該当児童に応じた質問) You like <u>games</u>. What game do you like? -----St: I like <u>Pokemon</u>.</p>

T1/T2: What sport do you like?
 St: Apples.
 T1: Oh, you like apples. What fruit do you like?
 St: I like apples.
 T1/T2: Me, too! (Praise)
 How about sports?
 I like soccer.
 What sport do you like?
 St: I like tennis.

T1/T2: What sport do you like?
 St: No. / (沈黙など)
 T1: **That's okay.**
 (該当児童に応じた質問)
 You like games.
 What game do you like?
 St: I like Pokemon.
 T1: Great! (Praise)
 Do you like sports? (など)
 ※徐々にもとの質問に戻す。

It's YOUR turn! 児童・生徒をほめましょう！

- 1 4人組となり、T1、T2、S1 S2役を決める。
- 2 T1,T2はWhat sport do you like?
と問いかけ児童役はさまざまな解答をしましょう。
- 3 T1、T2は児童の様子に応じてほめたり励ましたりしましょう。
- 4 拠点校の代表2名が明海大学生の活動を見取りフィードバックを与えます。

まとめ

「ほめことば」を使って学習改善を促し自信を育む

- 児童・生徒の学習改善につながる評価

← 授業中の教師の声掛け（ポジティブなフィードバック）により学習改善を促す。

- 教師の指導改善につながる評価

← ALTも児童・生徒の学習改善を促し観察することができる。
→ ALTの授業への関わり方が変わる。

協力学生氏名

明海大学外国語学部 英米語学科

上原二葉さん

児島晴香さん

小林優汰さん

保足晟吾さん

<参考文献等-1>

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』（平成29年7月、文部科学省）

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動』（令和2年3月、文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター）

『学習評価の在り方ハンドブック 小・中学校編』（令和元年6月、文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター）

<参考文献等-2>

- Banta, T.W., & Palomba, C.A. (2015). *Assessment essentials: Planning, implementing, and improving assessment in higher education*. (2nd ed.). Jossey-Bass.
- Brophy, J. (1981). Teacher praise: A functional analysis. *Review of Educational Research*, 51(1), 5-32.
- Conroy, M.A., Sutherland, K.S., Snyder, A., Al-Hendawi, M., & Vo, A. (2009). Creating a positive classroom atmosphere: Teacher's use of effective praise and feedback. *Beyond Behavior*, 18(2), 18-26.
- Dixson, D.D., & Worrell, F.C. (2016). Formative and summative assessment in the classroom. *Theory Into Practice*, 55, 153-159.
- Dörnyei, Z. (2001). *Motivational strategies in the language classroom*. Cambridge University Press.
- Ferguson, M. (2013). Praise: What does the literature say? What are the implications for teachers? *Kairaranga*, 14(2), 35-39.
- Ketabi, S. & Ketabi, S. (2014). Classroom and formative assessment in second/foreign language teaching and learning. *Theory and Practice in Language Studies*, 4(2), 435-440.
- Klute, M., Apthorp, H., Harlacher, J., & Reale, M. (2017). Formative assessment and elementary school student academic achievement: A review of the evidence. REL 2017-259.
- Lyster, R., Saito, K., & Sato, M. (2013). Oral corrective feedback in second language classrooms. *Language Teaching*, 46(1), 1-40.
- Nation, I.S.P., & Newton, J. (2009). *Teaching ESL/EFL listening and speaking*. Routledge.
- Ogawa, T. & Higashi, H. (2017). Eigo no Onsei. In Yoshida, K. (Ed.). *Shogakko Eigo Hajimeru Kyokashou*. [Total Guide for Elementary English Education]. (pp. 38-41). DTP.
- Parks Ennis, R., Royer, D.J., Lane, K.L., Dunlap, K.D. (2020). Behavior-specific praise in pre-K-12 settings: mapping the 50-year knowledge base. *Behavioral Disorders*, 45(3), 131-147.
- Tuttle, H.G. (2013). *Formative assessment: Responding to your students*. Routledge.
- Tuttle, H.G., & Tuttle, A. (2009). *Improving foreign language speaking through formative assessment*. Routledge.
- Sato, K. (2018). *Shogakko eigo no oshiekatta*. [Teaching Methods of Elementary School English]. Kodansha.
- Sun, Y. (2021). The effect of teacher caring behavior and teacher praise on students' engagement in EFL classrooms. *Frontiers in Psychology*, 12, 1-9.
- Yoshida, K. (2022, May 24). *Shin gakushu shidou youryou no genten*. 「The Origins of the New Course of Study Curriculum Guidelines」. [Symposium] Meikai JOE Plus. Meikai University, Japan